

| 概 要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>第 30 回 市民と市長の対話ひろば ～もりりと語ろう、宝塚市の未来～<br/>         テーマ：市役所周辺エリア（シビックゾーン）の未来を語ろう！～スポーツセンター・末広中央公園・河川敷などをもっと楽しく！使いやすく！～</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>日時：令和 8 年 7 月 17 日（金） 午後 6 時 5 分～午後 8 時 5 分<br/>         場所：西谷会館 屋内活動室<br/>         参加者：19 名<br/>         出席者：森市長<br/>         都市安全部 江崎部長 他<br/>         都市整備部 中村部長 他</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>《市長のテーマ説明》</p> <p>1. 趣旨</p> <p>・市役所周辺エリア（シビックゾーン）の公共施設の現状を共有した上で、今後のあり方について市民の意見を聞き、集約・検討したい。</p> <p>2. シビックゾーン内の各施設の現状と課題</p> <p>・市役所本庁舎、第 2 庁舎</p> <p>本庁舎は築 46 年（村野藤吾氏設計）で永続性のあるデザイン。今秋には市民ホールを開放予定。第 2 庁舎は築 4 年と新しい。市役所前ひろばは、マルシェやキッチンカーなどで活用している。</p> <p>・末広中央公園</p> <p>築 22 年。阪神淡路大震災の経験に基づく防災公園（貯水槽やベンチなどの防災ツールを配備）。普段は憩いの場やイベント会場として広く活用されている。</p> <p>・中央公民館</p> <p>築 7 年で新しい。集会や自習室等で活用。</p> <p>・末広体育館</p> <p>築 55 年と老朽化が目立ち、エアコンがなく利便性に課題。建て替えが必要な時期。</p> <p>・武庫川河川敷</p> <p>県管理の土地だが市の公園として指定・管理している。（テニスコート、フットサル、ハーフマラソン等で活用）</p> <p>・スポーツセンター</p> <p>総合体育館、武道館（築 40 年）、屋外プール管理棟（築 37 年）、屋内プール（築 34 年）、テニスコート、野球場などがあるが、全体的に老朽化。駐車場の不足・出入り口の混雑も課題。水回りの施設は維持・修繕に多額の費用がかかる。</p> <p>・教育総合センター（本館・分室）</p> <p>本館は築 34 年。分室は築 57 年と非常に古く、対応が必要。不登校支援や教員研修、図書分室などで利用している。</p> <p>3. 本市が抱える共通の課題</p> <p>・高度経済成長期（約 55 年前）に整備された施設が多く、今後 10～20 年で一斉に更新</p> |

時期を迎える。

- ・人口減少により市職員人数や税収が減少し、現行施設の管理・維持が困難。
- ・市全体の赤字は今後 10 年で約 23 億円を見込む。前年の 63 億円から縮小させたが依然として厳しい。
- ・各施設の年間維持費・改修費が多額（例：修繕・管理費等でスポーツセンター毎年 2～3 億円規模、市庁舎毎年 3 億円規模、中央公民館毎年 6000 万円など）。人口減に合わせて施設面積（サイズ）の縮小を検討せざるを得ない状況。

#### 4. 今後の解決策（官民連携の導入）

- ・市の資金や力だけでは困難なため、民間事業者のアイデアやノウハウを取り入れる。
- ・国土交通省の補助金を活用し、行政・市民・民間の連携による事業プロセスの検討を進める（1 年間の計画）。
- ・民間参入（公園へのカフェ設置やスポーツ施設の民営化など）を進める一方で、障害者向け教室のような「公益性の高い事業」は行政が責任を持って保護・継続する。

#### 5. 市民への意見協力・参加の呼びかけ

- ・今秋にワークショップを開催予定している。
- ・本日の対話のほか、アンケート（二次元コード）を通じた意見提出も可能。
- ・施設の不満点・改善案、イベントや渋滞対策などのアイデアを幅広く募集する。

#### 《対話》

##### 1 参加者【子育て・自然体験を促進するプレーパーク拠点の整備について】

- ・今の時代、単に AI 任せにするのではなく、子どもが自ら問題を発見・解決する子育てや体験学習（自然・文化・社会体験）が重要である。
- ・末広公園周辺は小中学校が近くにあり、子どもが集まりやすく集団遊びや親子の関わりを生む場所として非常に適している。
- ・末広公園の一部を活用し、子どもが自由に遊べるプレーパークを設置する。併せて武庫川河川敷を活用し、ヨシ（アシ）の植栽などを通じた環境学習や自然体験ができる仕組みをつくる。
- ・ここを拠点として提示することで、親や地域住民に気づきを与え、他の地域の公園にも同様の取り組みを広げていくきっかけにする。

##### ➡市長

- ・プレーパークの実施自体は歓迎であり、市内の公園でやりたいという声があればぜひ取り組んでほしい。
- ・プレーパークは新たな大型設備を作るよりも、既存の環境を生かして地域住民が主体となって運営・実行してくれるか（担い手がいるか）が大きなポイントとなる。
- ・子どもの成長や地域への波及を見据えた素晴らしいアイデアとして受け止める。

##### 2 参加者【西谷地域における子ども向け公園の整備について】

- ・西谷地域は子どもの遊べる場所が少なく、既存の公園は老朽化して安全に遊べる環境が整っていない。末広中央公園などへ行くには距離が遠い。

・三田市にある県立有馬富士公園のような、子どもが安全かつ伸び伸びと遊べる公園をぜひ西谷地域に整備してほしい。

➡市長

・建設を約束することはできないが、県立有馬富士公園のような環境を望む気持ちや、子どもの成長・子育てにおいて安全な遊具・滞在場所が重要であると認識した。要望としてしっかりと受け止める。

### 3 参加者【シビックゾーン（武庫川沿い）における地震・津波の防災リスクについて】

・地震が発生した際、武庫川兩岸にあるシビックゾーン周辺まで津波が押し寄せてくる危険性や、現在の堤防等の高さで安全面は問題ないのか。

➡担当部

・県の南海トラフ地震被害想定に基づき、武庫川を遡上した津波が宝塚市（シビックゾーン周辺）まで到達する心配はない。

・津波の心配はないものの、大雨による武庫川の氾濫・浸水に対しては注意が必要。市役所周辺も浸水想定区域に含まれており、ハザードマップに情報を掲載して周知している。

### 4 参加者【障害者向けトイレ（ユニバーサルデザイン）の拡充について】

・武庫川周辺のイベント等でトイレ問題があり、外出をためらう要因になっている。単にスペースが広いだけのトイレでは不十分で、大人用ベッド（大型ベッド）が設置されたトイレが不足している。

・障害を持つ人も安心してイベントや外出に参加できるよう、大人用ベッド等を備えた使い勝手の良いユニバーサルデザインのトイレを何カ所か整備してほしい。

➡市長

・大変重要な指摘である。人が集まる場所や行きやすい場所において、誰でも安心して利用できるユニバーサルデザインのトイレは重要。貴重な意見として受け止める。

### 5 参加者【市役所周辺の道路渋滞および新しい橋の架設について】

・宝塚新大橋や市役所通りの道路が日常的にひどく渋滞している。市役所の駐車場から出にくく、手前の信号も曲がれないなど、交通上の大きな問題がある。

・渋滞緩和のため、迂回できるような道路や新しい橋の整備をしてほしい。

➡市長

・宝塚市全体の構造的な問題として、武庫川に架かる橋が足りないことが渋滞の主な原因である。また、既存の宝塚新大橋も老朽化が進んでいるが、通行止めにして掛け替えることは難しいため、代替となる新しい橋が必要であると認識している。

・すでに都市計画道路（伊子志旭町線）の計画自体は存在している。現在優先して進めている他の都市計画道路（荒地西山線など）が落ち着いた段階で、新しい橋の建設や既存橋の架け替え・拡幅などの検討を進めたい。

### 6 参加者【人道橋（歩行者専用橋）の設置による混雑分散について】

・市役所やスポーツセンター周辺の混雑を分散させるため、人が渡れるような人道橋（歩行者専用の橋）を武庫川に新しく架けるようなアイデア（分散の考え方）はできないか。

➡市長

- ・既存の宝塚新大橋には幅が狭いものの歩道（上流・下流の両側）があるため、まずはそちらを活用してほしい。
- ・都市計画道路の枠組み外で市が単独で人道橋を新設することは、巨額の費用がかかるため現状では難しい。
- ・将来的に都市計画道路に基づいて新しい橋を架け、既存の橋を掛け替える段階で、自転車や歩行者がより渡りやすい構造を整えていくのが現実的なプロセスとなる。

7 参加者【宝塚ハーフマラソン大会の課題と今後の運営方針について】

- ・着替え場所の不足や荷物搬送のトラブル、他市（西宮市）の敷地利用など、現場運営上の課題が多い。また一時、中止・休止との情報が錯綜し混乱が生じた。宝塚ホテル跡地のマンション建設等による周辺交通量の増加も懸念される。
- ・費用や警備の負担を抑えるため、武庫川河川敷を主体とし、末広中央公園をスタート・ゴールとするような市民や子どもを中心とした持続可能な大会へ見直してはどうか。ボランティアへの協力姿勢は継続したい。

➡市長

- ・経緯としては、警備費の高騰、雨天時の中止リスク、ボランティア減少など課題が山積していた。3月時点で方針（従来通りか変更か）を検討中だったため予算を確定できておらず、心配をおかけした。
- ・コース変更の難しさがある。コースや日時の変更には警察の交通量調査（約150万円）や1年間の大会休止が必要となる。全国からランナーが集まり高い参加料が得られるのは、花のみち等の公道を走れる非日常感があるため。武庫川河川敷を主体とした市民中心のコースに縮小した場合、外部からの参加料収入が絶たれ、市が負担する実質的なコスト（約500万円）は従来と変わらなくなってしまう。
- ・一旦休止するとランナーの戻りが悪くなるため、今年度は企業の協賛金獲得や参加料改定、運営の工夫を取り入れつつ継続する（6月議会で予算化）。
- ・今後は西宮市側の工事予定なども踏まえ、コストを抑えつつ武庫川河川敷を最大限に活用した持続可能なあり方を市民と模索・追求していく。

8 参加者【シビックゾーンの施設活用と防災・安全対策、西谷地域の振興・県有林の活用と産業誘致について】

- ・市役所前ひろばの貸し出し等前進している。末広自転車返還所などを地下化・整備することで、プレーパーク等の設置スペースを生み出せるのではないかな。
- ・橋の崩落リスクを防ぐため、将来的な架け替え時には仮設橋の横構築・スライド工法などの最新技術や、国・県の助成金を活用した検討が必要。
- ・東京（足立区など）では大雨や津波等の水害リスクを懸念し、河川敷の生涯学習施設等に移転・撤去する動きがある。武庫川の増水量や今後の降雨量を踏まえた慎重な開発・利用判断が求められる。
- ・西谷地域は過疎化・少子高齢化が深刻であり、公共交通（バス）の維持もギリギリの状態にある。
- ・県の財政難に乗じる形で、放置状態にある西谷の県有林の開放・売却を県へ強力で交渉

してほしい。

- ・新名神インターチェンジ近くの敷地に物流倉庫などを誘致すれば、1,000～1,500 人規模の雇用が生まれ、若い子育て世代の移住、交通インフラ（バス路線）の安定、学校の維持につながる。

➡市長

- ・しっかり費用対効果や財政負担を精査することが市の役割である。市の財政負担を極力抑えつつ、市民にとって最適な形を目指して検討を進めていく。

- ・産業誘致や県有林の活用は選択肢として考えられるが、何よりも西谷の住民がどのような地域にしたいかという意向が最も重要である。

- ・雇用の創出を重視する声がある一方で、豊かな自然環境の保全を望む声もあるため、まずは地域住民の思いやアイデアをじっくり聞きながら対話・検討を進めていきたい。

#### 9 参加者【西谷地域の将来ビジョンと市長との対話の場づくりについて】

- ・ガソリンスタンドや商店の減少、日常の買い物環境の乏しさ、路線バスの廃止懸念、雇用の不足など、西谷地域は先行きが見えず住民の不安が極めて大きい。

- ・宝塚市全体の中で西谷が果たすべき役割や、市としての具体的な将来ビジョンを示してほしい。

- ・すでに地域側で作成・提出している西谷ビジョン（新名神サービスエリア周辺の活用、阪神間の広域連携、スポーツ拠点化など）を踏まえ、テーマを絞って市長と住民が膝を突き合わせて話し合える場を設けてほしい。

➡市長

- ・提出された西谷ビジョンはすでに目を通しており、市の条件として実現可能な点や課題がある点を整理・精査している段階である。

- ・西谷の課題や活性化策については、対話ひろばの機会とは別に、西谷地域の住民と直接議論できる場を近いうちに設定したい。

#### 10 参加者【県有林の活用とプレーパークを介した地域連携について】

- ・県有林の活用・保全について以前と比べて県の姿勢に変化が見られ、単なる管理から活用についての協議ができるようになってきている。

- ・県有林の良き活用が環境保全や地域生活の向上につながるよう、市長に主導的な役割を果たしてほしい。

- ・少子高齢化が進む西谷地区の自然環境を守るため、外部や都市部からの人材・支援の協力が不可欠である。

- ・市街地と西谷（里山）を繋ぐプレーパークなどの活動を通じ、双方の子どもたちが豊かな自然に触れ合える連携体制を育てていきたい。

➡市長

- ・課題も多く簡単な話ではないが、じっくり膝を突き合わせて対話していくことが重要である。

- ・県有林の活用は知事も関心を持っており、皆さんとの対話を通じて乗り越えられる部分や新たな展開を探っていきたい。

- ・プレーパークのコンセプトには非常に共感している。ただし行政主導になり過ぎると

持続可能性や面白みが失われるため、市民主体の盛り上げを支援・連携する形での実現が望ましい。

**11 参加者【スポーツセンター周辺の再開発について】**

- ・市街地は土地が高価なため、平地の駐車場を立体化してスペースを有効活用すべき。これによりテニスコートの増設や古い建物の整理などが可能になる。なお、市役所横の広い駐車場（公用車駐車場）は災害対応の空地として必要だと考える。
- ・現在の施設配置は断片的なため、シビックゾーン全体を見据えたビジョンが必要である。末広体育館の民間売却なども選択肢に入れ、行政だけでなく民間の資金やノウハウを大胆に取り入れて活性化を図るべき。

**→市長**

- ・駐車場や空地スペースの確保は、防災面だけでなく市役所の建て替えなど将来的な再配置（パズル）の観点からも非常に重要である。
- ・行政主導だけでなく、民間のアイデアを取り入れて人が集まる空間を目指す方向性に同意する。駐車場のあり方や混雑対策についても民間の力を借りながら進めていきたい。

**12 参加者【清荒神駅前での事例を参考にした西谷の魅力発信について】**

- ・以前、清荒神駅前の阪急電車敷地で、長いテーブルにクロスを敷き、ランチを楽しむ青空レストランのような企画を目撃した。市長や市の職員、地域の方々が参加しており、非常にハイセンスで若い人たちにも受けが良い企画だと感じた。
- ・このようなおしゃれで雰囲気の良い取り組みを参考に、西谷の新鮮な野菜を活用したサラダランチなどの企画を行うのは、西谷の魅力を伝えるうえで非常に有効ではないか。

**→市長**

- ・どのような形式で集まるのがよいかなど、後ほど西谷在住の皆さんとゆっくり対話・相談したい。

**13 参加者【路線バス廃止と新交通システム導入に関する周知方法について】**

- ・9月末の阪急バス撤退および10月からのデマンドバス試行運転開始という重大な事実が住民に十分周知されていない。
- ・デマンドバス予約に関する説明会が直前の9月初旬に設定されており、利用開始に間に合わない上、農繁期（稲刈り期）と重なっていて参加しにくい。
- ・地域の事情を理解した上で、もっと早い段階から丁寧な説明と周知を行ってほしい。また、機械の操作等について、いつでも相談できる体制を整えてほしい。
- ・地域の特性上、3ヶ月前など早い段階で詳細を示して意見を聴取し、それを反映させた上で試行運転へ進めるようなプロセスにしてほしい。

**→担当部**

- ・説明不足および説明会場の予約等に関する配慮不足で申し訳ございません。
- ・現行バスが9月末で運行終了となり、10月1日より小型車両によるハイブリッド運行（事前予約制デマンド等）へ移行することは事実である。
- ・運行経路や説明会等の詳細を早急に固め、できるだけ早く地域住民へ周知・説明を行う。

➡市長

・地域住民の意見を聴きながらどのように決定・周知していくかについて、担当部署とともに検討して進めていく。

14 参加者【10月からの新交通システムにおける市街地住民への利用案内および説明会について】

・ボランティア団体（丸山湿原の会）の参加者など、市街地から来る人もデマンドバスは西谷地域住民しか利用できないのではないかと不安を抱いている。

・市街地住民も含めて心配されているため、説明会の時期やどのような周知を行うのか教えてほしい。

➡担当部

・周知が遅れており申し訳ございません。説明会は9月に複数回開催予定で、その日時や場所の周知は8月中旬に行う。

・対面の説明会は西谷地域住民向けを前提としているが、市街地住民向けにはホームページなどを活用して広報・PRを行い、利用手順等に不安がないよう対応する。

15 参加者【新交通システム導入における周知の遅れと利用上の具体的課題（帰りの予約等）について】

・地域で公共交通のまとめ役を行っている立場として、自治会幹事や住民全体へ情報が行き届いていない現状を受け止め、市の協力も得ながら反省して取り組みたい。

・観光施設（県立宝塚西谷の森公園や宝塚ダリア園）や診療所・介護施設などを訪れる市外・地域の利用者は、行きは定期便等で行けても帰りのバス予約ができず取り残されるリスクがある。

・こうした現場の細かな課題に対応するためにも、行政は情報をより早く開示し、検討や対策の時間を確保してほしい。

➡市長

・事業者との調整状況などで内容が確定せず、周知のタイミングが遅れている背景がある。判明した情報から早期に周知する方法を相談しながら進める。

・利用者がいつ・どのように予約できるのか（スマホ予約の可否や予約期限など）といった仕組みの詳細について、内容が固まり次第わかりやすく説明する。